

い  
ず  
み  
さ  
の  
教  
育



問合先  
学校教育課

子どもたちの「安全の確保」と「学びの保障」の両立のために

依然として厳しい状況にある新型コロナウイルス感染症に関し、市内小・中学校において引き続き感染予防に全力で取り組んでいます。子どもたちの安全を確保し、できる限り教育活動に支障をきたさないためにも、より実情に即して対応できるよう、次のとおり進めていますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

【出席停止の措置及び臨時休業の判断について】

学校において感染者が発生した場合、学校の全部または一部の臨時休業を行う必要性については、保健所の調査や学校医の助言などを踏まえて学校の設置者が判断します。

まず、濃厚接触者などの特定およびその検査結果が判明し全画像が把握できるまでの期間、および校舎内の清掃消毒などに要する期間を考慮し、学校の臨時休業の要否を検討します。

次に、学校で家庭内感染ではない感染者が発生したときな

ど、学校内で感染が広がっている可能性が考えられる場合には、当該感染者などを出席停止とするとともに、学校医などと相談し、次のとおり臨時休業を検討します。

●学級閉鎖：同一の学級において複数の児童生徒の感染が判明するなど、学級内で感染が広がっている可能性が高い場合（原則5口を目安）

●学年閉鎖：複数の学級を閉鎖するなど、学年内で感染が広がっている可能性が高い場合

●学校全体の臨時休業：複数の学年を閉鎖するなど、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合

誰にも感染症に罹患する可能性があります。風評などにより、り患した人および濃厚接触者などの人権が侵害されることのないように、くれぐれもご配慮をお願いいたします。

※詳しくは市ホームページ（学校教育課）をご覧ください。

学校園紹介



仲間と一緒に成長する  
～佐野台小学校～

佐野台小学校は、「子どもの体力向上推進校」として体を鍛えることで心を磨き、体験型の学びを通じて優しくたくましい児童の育成を推進しています。

【みんな仲良し】学校の一員となった1年生を、上級生が大歓迎しました。温かいまなざしに包まれた新入生は、安心して勉強や運動に取り組むことができます。



【協力して成長】学年の枠を越えて編成される「わくわく班」で、七夕飾りを作りました。他にも「あいさつ運動」「募金活動」「学校紹介ポスター作り」「運動会の準備」「ゲーム大会」などの活動があります。お互いが助け合うことで、できなかったことができるようになる楽しさを実感しています。

【思いやり】東京オリンピックに出場するウガンダ共和国の選手に、激励のメッセージやイラストを贈りました。日本に来た外国人の気持ちを思い浮かべながら、習っている英語を使っの精一杯の表現活動は、優しい心を育ててくれます。



学習用端末の活用  
～中央小学校～

児童生徒一人ひとりに学習用端末が整備されてから、本校ではその活用が進んできました。国語、算数、理科、生活、社会、外国語などの各教科の学習プログラムを活用したり、写真や動画に撮ったものを詳細に調べたり、子どもたちは興味深く学習に取り組むことができます。



【低学年の音楽の授業】コロナ禍で音楽の授業を進めるのは苦勞が多いですが、学習教材を共有し、○△□を書き込んで、その大きさや位置によっていろんな音をつくる授業を行いました。気に入ったメロディを自分で作っていくのは、とても楽しそうでした。

【高学年の体育の授業】実技を動画に撮り、その場で自分の演技を確認して、理想とする演技と見比べて、どこをどう改善したらいいのかを考え、次に生かしていく授業も行いました。

今年度に入ってから特に学習用端末の活用が進んできています。今後さらに活用できる範囲を広げ、子どもたちの学習意欲の向上、学力保障につなげていきたいと考えています。

